

平成19年度北部ものづくり支援技術入門セミナー

京都府中小企業技術センター中丹技術支援室では、中丹地域を中心とした北部地域のものづくり産業の振興を図るため、加工・測定・分析など幅広い分野で利用できる約90機種の技術支援機器を導入しました。今回は、これらの機器を企業の皆様により広くご活用いただくために開催した「北部ものづくり支援技術入門セミナー」の内容をご紹介します。

第1回セミナー「材料分析技術」(11月6日開催)

○講師 株式会社島津総合科学研究所 顧問 副島啓義 氏

材料分析技術は、新製品開発及びクレーム処理等不具合箇所の原因究明に欠かすことはできません。材料分析、構造解析、表面観察等について、蛍光X線分析、X線回折、フーリエ変換赤外分光光度計、走査電子顕微鏡の分析方法を例に挙げて、原理や活用法等を解説いただきました。講演後は、当センター職員が機器操作方法等を説明しました。



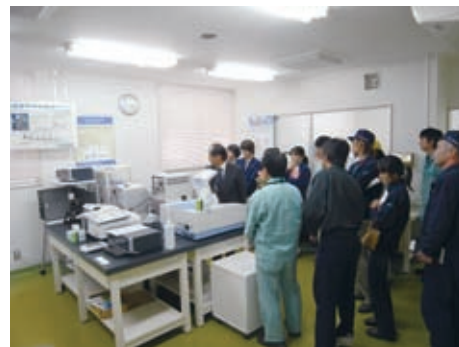
講義風景

第2回セミナー「精密計測技術」(11月8日開催)

○講師 株式会社ミットヨ

西日本営業部ESグループ セールスマネージャ 中野光久 氏

高品質な部品・製品を作製するためには精密計測技術が必要となります。幾何公差の意義、その図示方法の必要性、設計図に示されている記号について、また、工業技術の高度化、国際化に伴う図示方法の統一など精密計測の近年の状況について解説いただきました。続いて表面粗さ測定機、三次元測定機、真円度・真直度測定機のデータに関する解説の後、当センター職員が機器操作方法等を説明しました。



機器操作説明

第3回セミナー「機械加工技術」(11月13日開催)

○講師 京都工芸繊維大学 教授 高倉章雄 氏

前素形材(板、棒、線、形状、管、粉末など)からの成形加工、除去加工、付加加工などの二次加工法の特徴及び機械加工技術について解説いただきました。

また、機器活用インストラクターが、旋盤、フライス盤、ボール盤、電気溶接機について操作方法等を説明しました。

第4回セミナー「材料評価技術」(11月15日開催)

○講師 京都工芸繊維大学 教授 高倉章雄 氏

生産現場に必要な部材の強度、硬さ、組織等を理解するためには、材料評価技術が必要となります。部材の強度等を評価するために基本となる引張試験の概要やデータの解釈のほか、日本工業規格(JIS)に規定されている各種硬さ試験についても説明いただきました。講演後は、当センター職員が、硬さ試験機、万能材料試験機、金属顕微鏡について操作方法等を説明しました。

第5回セミナー「信頼性評価技術」(11月20日開催)

○講師 エスペックテストセンター株式会社 校正センター長 山浦雅弘 氏 (環境試験)

エミック株式会社 顧問 井下芳雄 氏 (振動試験)

製品を壊れにくくするには、環境を無視することはできません。環境といっても温度や湿度、気圧などの気象環境から、振動などの物理的な環境まで幅広く捉える必要があります。環境条件やその影響・現象などの例を挙げて、温湿度サイクル試験装置や振動試験機のデータの解析について説明いただきました。講演後、当センター職員が機器操作方法等を説明しました。

第6回セミナー「三次元設計加工技術」(11月22日開催)

○講師 横浜キヤドテック 代表 寺崎武彦 氏

近年のCAD/CAMの状況、データ変換ソフト・CAMソフトの近況や運用について解説いただきました。講演後、当センター職員が3Dプリンター、非接触3次元デジタイザーについて操作方法等を説明しました。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
中丹技術支援室

TEL:0773-43-4340 FAX:0773-43-4341
E-mail:chutan@mtc.pref.kyoto.lg.jp